1
ぽむ☆マギ
POM☆MAGI
九十九
Magica Quartet
ぽむ☆マギ
1
Magica Quartet
九十九
芳文社
POM☆MAGI
MANGA TIME KR COMICS
1
ぽむ☆マギ
POM☆MAGI

なにやら私たちを題材にした漫画が始まると聞いたわ
今回はシリアス路線ではなくてギャグ路線とか
そうなると私とまどかのキャッキャウフフなシーンなんかもふんだんに…
いや、それは期待しない方がいいと思うよ
ちょーーーーん
なに？この子
作中の時間軸のほむらだよ
よく分からないけどこうなっちゃったんだ
…言ってる意味が分からないわ
ボクもワケが分からないよ
じゃあ私の出番は…!?
とりあえず待機しててもらえるかな
ぽむ☆マギ
1
POM☆MAGI
Magica Quartet
九十九
芳文社

ちなみに作中ではまどかに抱っこされたり添い寝したりもするみたいだね
ぐににに
でも安心しなよよく見たら君の出番もちゃんとあるみたいだ
そうでしょう！だって私はメインキャラなんだから!!
作中で3コマだけ出てくるらしいよ
3コマッッ!?
しかもそれはある意味回想的なもので
さらに言うとまどかは君のことをほむらだとは認識できていないみたいだね
ああああ

1
ぽむ・マギ
POM MAGI
漫画 九十九
原案 Magica Quartet
©Magica Quartet／Aniplex・Madoka Partners・MBS

Kaname Madoka　Akemi Homura　Kyubey

佐倉杏子
美樹さやか
巴マミ
Sakura Kyoko
Miki Sayaka
Tomoe Mami

マミ　見滝原に
新しい魔法少女が
来るみたいだよ
本当？

この街に魔法少女が
来るのも久しぶりね
ふふ…
ちょっと昔のことを
思い出しちゃったわ

ね　その子が来たら
私にも知らせて
なぜだい？
決まってる
じゃない

孤独な戦い
からの脱却よ！
私は再び
魔法少女コンビを
結成してみせる!!
飢えてるな～
仲間に

杏子 見滝原に新しい魔法少女が来るみたいだよ
へぇ
あそこはマミのテリトリー…
新参が乗っ取りでも企ててるってのかい？
シャリ
そういうワケではなさそうだけど
なぁ そいつが来たらアタシにも知らせろよ
バッ
なぜだい？
決まってんだろ
きっちり脅しつけておかないとな
こういうのは初めが肝心なんだ！初めが!!
パキパキ
荒んでるなこっちは〜

なんだか教室がざわついてる
あ～あれのことかな
やっぱり皆さんも気になってるのね

転校生が来るっていう話だよね
なんだかこっちまで緊張してきちゃうなぁ

あら？私は小学校低学年ぐらいの子が校内を徘徊してたという話を聞いたのですが…
ドンッ
え!?

あれ～？私はさっき見かけた真っ白い珍獣の話だとばかり…
バァァン!
それはさすがにネタでしょ？

不意に訪れたイケメン転校生との出会い！そして始まるラブロマンス！
…とかあったり
え～それはないよぉ

いやいや～分からないよ
まどかに一目惚れしちゃって積極的にアタックしてくる！
な～んて可能性も
だって女の子みたいだよ転校生

あ
そうなんだ
じゃあ流石にそういう展開には…
ふふっ

いいと思いますわ
ニコ
ニコ
愛の形は人それぞれ私は応援しちゃいます
!?

ドキ ドキ
男子のみなさんは絶対に卵の焼き加減にケチをつけるような大人にならないこと!
そわ
そわ

ビクッ
はい あと それから…
今日はみなさんに転校生を紹介します

ピタァッ
じゃ 暁美さん いらっしゃ…
カチッ

ドキ
ドキ
ふ
何巡しても慣れない転校初日の緊張感

転校生

機転

それぞれの個性

ギリ
ギリ
ギリ
みんな仲良くしましょうねー♪

な なんかあの転校生…こっちをすっごい睨んできて怖いんだけど…
え そうかなぁ…？

わたしには凄く穏やかな表情に見えたけど…
ギリ ギリ
ギリ
ほら また睨んでるって ほら!!

邂逅

う～ん…

あの娘…
どこかで見たことある…
ような…

うん…
確か夢の中で

あっ…！
分かった…！

ただの勘違いだ これー
コツン
あの娘とは全っ然
似ても似つかないよ

真相は闇の中へ

闇取引

じゃあ暁美さんにはこの空いてる席に…
…嫌なの？
席替え？
席替え
でもこの時期に席替えは…
え なに？
どうしたの？暁美さん？
……………
……………
さー みんな！席替えの準備を始めますよ！
今から くじを作るから！…あ くじ引きは早いもの順だからね！
何があった…？
脅し!? 買収!?

大勝利

えっと…
カサッ
2
どうだった？
2番だって壁際の方だね
ピタァ…
パァ
カチッ
パラ
パラ

誤算

あ まどかじゃん
ガーン
また近くの席になったねー
!?
わー さやかちゃん また一緒だね
お 転校生の ちびっこも 一緒か
近くの席に なったのも何かの縁 まー 仲良く しようじゃないか
あたしは美樹さやか これから よろしくね!
ぷる
ぷる
ギュウウ
ほむらちゃん!?

消沈

なんであたし
こんなに
嫌われてるの？
ほむら
ちゃん！
ふー

ダメだよ
ちゃんとみんなと
仲良くしないと…
さやかちゃんに
ごめんなさい
しよ？

ぶわわっ

謝って！
さやかちゃん！
早く
ガタァッ
え!?
ご ごめん!!
……？
いや あたし悪く
ないだろ!?

救援

…助けて
助けて！まどか！

僕を助けて！
タッ
誰？誰なの？どこにいるの？
タッ
なんだろっ何が何だか全然分からないけど・

こんなに悲痛な声で助けを求められたら放ってなんておけないよ・
きっと目も当てられないようなひどい目にあって…

助けてぇ!!
……あれ？

ぽむ☆マギ

未知との遭遇

なにやってるのほむらちゃん！
!?
動物をいじめたりしちゃダメでしょ
ぶんぶんぶん
それにしてもなんだか変わった動物だなぁ
なんだろ…？猫？うさぎ？
君は僕の味方をしてくれるんだね
ありがとうまどか
ぎゃあああああああああああ!!
ヒュッ

最強の片鱗

ぷしゅー
ピクッ
ピクッ
あぁっ!!
ごめんなさい!
ごめんなさい!!
突然
人の言葉を喋るから
びっくり
しちゃって…
ハハハ…
まぁ…
気にしないで…
ガク
ガク
ムフーッ
君ならきっと
僕の呼びかけに
応じてくれると
思っていたよ
あの助けを
求める声は
あなたのもの
だったんだね
あまりにも必死な
声だったから…
何が出来るかも
分からないけど
わたしが助けに
いかなきゃって…
まぁ 僕に致命傷を
負わせたのは
他ならぬ
君なんだけどね
ゴゴゴ
ごめんなさい!!

勘違いまどか again

誰一人噛み合わず

資質

いやはや…なんとも現実離れした展開になってるね
さやかちゃん！どうしてここに？
あーまどかの様子が気になってつい後を…ね
そしたら猫が喋ってるしまどかは魔法少女に勧誘されてるし…
マホウショウジョ？
やっぱり聞いてなかったんだねまどか
ねぇさやか 僕の姿が見えるのなら君にも魔法少女になる素質があるということだよ
え⁉そうなの？
そうさ だから…
君も僕と契約して魔法少女になってよ
一度に二人も魔法少女候補が見つかるとはね このチャンスを逃す手はないよ
ん～ 魔法少女ってさ なんか可愛らしくて華やかなイメージがあるじゃない？
まどかは似合いそうだけどあたしはそういうガラじゃないんじゃないかと
まずい…！
そんなことないよ！魔法少女にだって色々なタイプがいるんだ！
友達がいない寂しさを紛らわせたいのか自らの魔法の命名に密かな楽しみを見出し始めてる孤独な娘もいるし…
衣食住 全て不安定で反社会的な行為も辞さないアウトロー娘だっているんだよ！
聞こえてるわよキュゥべえ…
ふふ…うふふ…
カチャ
へへぇ～

テイクアウト

え？え!?
なに？
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
わぁあ!!なんなのこれ!?
ザザザザ
魔女の使い魔だ！
このままでは危険だよ！
まどか！さやか！早く僕と契約を——
こ これ可愛いね 一匹くらいなら持ち帰っても大丈夫かな？
ダメ——ッ！
契約……
あんたも持ち帰る手伝いをしない!!

救世主

そんなことより はやくここから 逃げださないと…
この時 暁美ほむらに 電流が走る
これは千載一遇のチャンス なのではないか――
まどかの身を守りつつ この魔女結界を鮮やかに 排除してみせれば
ほ ほむらちゃん!?
ほむらちゃん …かっこいい!
ほむらちゃん ありがとう! 大好き!!
へへへ… ほむら様には やっぱり敵わねぇや…
千載一遇のチャンス
大丈夫? 危ないところ だったわね
なんでだい?
は はい! ありがとう ございます!
消失!!

マミさん

私は巴マミ
あなたたちと同じ見滝原中の3年生……そして
キュゥべえと契約した魔法少女よ
マミ〜ッ
…………
オイシイところを持っていかれて悔しいのは分かるけどさ
ギャッ
ギャッ
メキ
メキッ
僕に八つ当たりをするのはやめてくれないかな？

ぽむ☆マギ こぼれ話 1

ほむらは座高が低すぎて、そのまま席に座ると
まともに授業が受けられなくなるので、
クッションを何段も重ねることで高さを調節しています。

ぽむ☆マギ こぼれ話 2

授業中、ほむらがホワイトボードに何かを書く際は
近くの席のまどかやさやかが補助役として駆り出されます。
まどかならご満悦、さやかなら不満気になったりと
露骨に態度が変わるようです。

偶像

マミさん
かっこよかったなぁ～

頼れるお姉さんって感じだよね
そう 強くて優しくて美人でおまけにスタイル抜群！

ねえ 後でマミさんをお昼に誘って みようか
魔法少女についての話も聞いてみたいしさ
うん でもマミさんみたいな人は引っ張りだこなんじゃないかなぁ？

色々ツッコみたい！ツッコみたいけど…
なんか面白くなりそうだから今はやめておこう！

ぽむ☆マギ

偽装

マミさん寝てるね
きっと毎日のように街を見回ったりしてるから疲れてるんだよ
じゃあ次の休み時間にまた来てみよっか
うん
次の休み時間
あれ？また寝てる
無理に起こすのは悪いからまたにしようよ
さらに次の休み時間
ねぇ…もしかしてマミさんって友達が…
さやかちゃん
その先は言っちゃだめ

救 済

ビクッ
マミさ～ん
今日のお昼一緒に食べませんか？
マミさんと色々お話したいと思って…
え…
え？
一緒にお昼!?
私を誘ってく
てるんだよねそ
れってつまり私
を友達と認識し
寝たフ
しなくて
のね私ひと
っちじゃない
のお友達と一
にお昼ご飯
達と一緒
ご飯お友達
お お昼… ええ… ええ！ 行きましょう！
ドキ
どこで食べる!? やっぱり屋上がいいのかしら!?
ドキ
いやいやマミさん まだ3時間目が 終わったばかりですから－！ まだ授業ありますから!!
ぐすっ
マミさん…

勘違いまどかリターンズ

四次元シールド

わ 変身した!
ほむらちゃん本当に魔法少女だったんだ…
ねぇねぇなにかやってみせてよ
やっぱり魔法とか使えたりするんでしょ?
はぁ…
パンが消えちゃった!?
盾に物を入れることができるの?
……それだけ?
あ
取り出しも自由に出来るんだ?
ちょっ…!!
そんな物騒なもの学校に持ち込んでくんなよ!!

2 軍的スキル

なるほど…
つまり…

地味だけど
結構いい能力
なんじゃない？

倉庫… 収納…
盾の中…

ほむらちゃんは
倉庫の能力を持つ
魔法少女って
ことだね！
!?

RPGでいうところの
預かり所ってのは
何気に重要な
ポジションなんだぞ！
カァン
シャッ

『スクード・ディ・ストカッジォ』
（収納の盾）
…なんてどうかしら？
あなたの能力の名前
ウフフ…
ぷんぷん

チート級スキル

ほんと!?
もっとすごいことできる!
見たい見たい!
時間停止
解除
どやぁ…
カチ…
カチ…
…
何も…起こらないね
どうしたの暁美さん?
焦らさないではやく見せてよ~
ガーン
!?

うっかりスキル

え!?
もう予鈴?
キーンコーン
みんな早く後片付けを!
はやく戻ろう! 遅刻しちゃう!
ほむらちゃんも急いで!
ゴチャ
おろ おろ
こういう時こそ時間を止めればいいということに気付く
せっ せっ
時間停止前に手で触れていれば相手に魔法の存在を知らせることができたことに今更ながら気付く

接触

余りの不甲斐なさに
自己嫌悪中
しゅん…
…食うかい？
スッ
キュゥべえから聞いたけど
アンタも魔法少女なんだってね
…って
あんまり驚いてないみたいだね
もしかしてアタシのこと
もう知ってたりするとか？
いやね
突然新参が現れたと
聞いたもんだからさ～
シャクッ
挨拶がてら
ちょいと脅かして
やろうかと思って
来たんだけどね
あたしは佐倉杏子
アンタと同じ身の上さ
あ ウソウソ
ザザザザザッ
あっはっは
そんなに
警戒すんなって

当たり

まぁ
あながち冗談という
訳ではなかったんだ
けどな…
?
まさかこんな
ちびっ子だったとは…
妹のこと思い出して
やる気が失せちまったよ

さて…
ザバッ
顔見せも済んだし
アタシはもう行くよ
…あぁ それと

何をそんなに
落ち込んでるのか知らないし
詮索する気もないけどさ
嫌な気分なんて
そういつまでも抱え込んで
おくもんじゃないよ

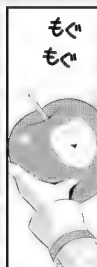
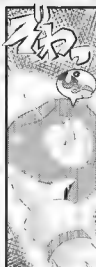
美味いもんでも食って
とっとと忘れちまいな
じゃな

………
しゃく
しゃくっ

もぐ
もぐ

ぞわっ

パンッ

再会

キュゥべえを介して
巴マミに呼び出された…
彼女に会うのは
かつて袂を分かって以来の
こととなる

この呼び出しにどういう意図が
隠されているのかは分からない
展開によっては
闘いになることも辞さない――
そんな覚悟で来たってのに…

まみ――――ん

どうか私と一緒に
お食事に行って
頂きたくて
どういうことだオイ…？

ぽむ☆マギ

虚言
昨日
キュゥべえに聞いたんですけど魔法少女ってマミさんやほむらちゃん以外にも居るんですね
え…？
マミさんの知り合いだって聞きましたよ
もっ
もっ
佐倉さんのことかしら…？
ええ… 魔法少女は私たちだけじゃない もう一人身近に居るの
私のお友達よ
ある時は魔法少女として共に戦って…
またある時はお互いの家に遊びに行ったりして…
公私を共にするパートナー
ふふ… そう 親友とも言うべき存在なのよ
今は気まずい関係になってまったく会ってくれないけど
その人に会ってみたいです！
え!!?
あたしとまどかは魔法少女の候補になってるじゃないですか？
今は少しでも多く当事者の話を聞いておきたいなって
で でも彼女は今は別の街で活動しててね… 連絡を取るのも一苦労…
別にそこまで離れたところにいるわけではないだろう？
連絡なら僕が代わりに取ってあげるから安心しなよ
ぐっ！
じーーっ♥
………
…ま…
任せておいて！
後日 お食事の場でも設けることにしましょう
うっ
あかん…
やったぁ！

師弟愛

…という流れでありまして…
ったく…妙な見栄張るなよな～
別に一人だっていいじゃんかその方が気楽だしさ
年長者としての威厳を保ちたかったんです…
とにかく却下だ仲良しごっこならアンタらだけでやってなよ
ガシッ
そんなこと言わないで…私たちだって以前は仲良くしていたじゃない
そりゃあくまでも昔の話さもう忘れた
あなたの魔法にあんなにも素敵な名前を付けてあげたのに！
ロッソ・ファンタズマまで忘れてしまったというの!?
忘れかけてた黒歴史をほじくり返すな!!
そんな…！だってあんなに笑顔で使ってたじゃない！
苦笑いっつーんだあれは!!

嫉妬

分かった！分かったよ!!
一日付き合えばいいんだろ
本当!?
その代わり飯ぐらいは奢れよな
ありがとう佐倉さん！
しっかし魔法少女候補とはいえ初対面の一般人相手に何を話せばいいんだよ
いや 暁美ほむらも来るよ 君はすでに顔を合わせているんだろう？
暁美…？あぁ あの子も来るのか
彼女とはもう打ち解けているのかい？
どうだかな まぁ マミ以外にも知ってる奴が居るのは気が楽だね
ただアイツ無口なんだよな～
佐倉さん… 暁美さんとお知り合いだったのね…
私はずっと一人で戦ってきたけど 佐倉さんにはもう新しいパートナーが出来ていたのかしら…
さっきは一人の方が気楽と言ってたのに…
…あ ごめんなさい！
ぶっ ぶっ
別に責めているわけじゃなくて… 私と同じでずっと一人っきりだとばかり…
ギリィ
あぁ～～～ めんどくせェ～～～

強いられる節約生活

鹿目さん 美樹さん 暁美さんの３人は先に着いてるみたい
ほいほい
なぁ 何でも注文していいんだろ？
ええ ファーストフードを奢るくらいで済むなら安いものよ
んーと… ハンバーガーと チーズバーガーと 照り焼きバーガーと…
フィッシュバーガーに 野菜バーガー… チキンバーガーも！
ざわ…
ポテトとコーラと チキンナゲット グリーンサラダ
うん サイズはLで！
チラッ…
あ 今まで言ったやつ 全部２人前ずつね！
!?
ご注文は以上で宜しいですか？
なぁ マミの注文もついでに済ませちゃえよ
あー ちょっと待って
え!? そ そうね…
えっと…
…お水ください
なんだ!? ダイエットでもしてるのか マミ!?

ファーストコンタクト

鹿目まどかです
あたしは美樹さやか
暁美 ほむら
まぁぐむぁもぐも
佐倉さん食べながら喋るのはよしなさい
もっしゃ もっしゃ
ゴクン…ッ
…佐倉杏子だ よろしくな！
なんか合コンみたいだね
合コンってなんだ？
あはは
よっしゃ まどか！景気づけにさっそく質問をぶつけてみるんだ！
ええ!? わ わたしが!?
えっと…んと…
…ご…
ご趣味は…？
なんかお見合いが始まった…

検閲

しゅ　趣味…？
えっと…
う〜ん…？
ふふ…
そんなに難しく
考えなくても
普段から
よくやってることを
言えばいいのよ

普段から
やってること…
食い物
盗んだりとかか？
ええ!?

お　面白いでしょう？
この子ね　こんな調子で
よく冗談を言うのよ
ゲホッ
あはは…
なななーんだ
冗談か
あとATMを
ぶっ壊して中の金を
ガシャアッ!

あ！
ってのも
冗談で…
ぶる
ぶる
ゲ　ゲーム！
ゲームやって
…ます

阻止

というか
魔法少女についての
質問をしなよ
……
そ　そうだね

あのさ　魔法少女に
なんて無理に
ならない方が
いいと思うぞ
色々失ってから
後悔したって
遅いんだからな
…そうね　奇跡に
すがるしかない
切迫した状況下でも
ないのなら…

悪いことは言わない
人として生きていける
選択肢があるなら
そっちを優先しときなよ
アンタもそう
思うだろ？

脳内シミュレーション開始

才能溢れるまどかが
魔法少女になる
自分の好感度を
上げるチャンスが
著しく減ってしまう
守ってあげるどころか
むしろ自分の方が
お荷物になる可能性が
ある
だったら
か弱い人間のままで
いてくれた方が都合が
いい

コク
だろ？
そっかぁ…
コク

実はまんざらでも…？

マミさんは銃火器で
イラァッ
ほむらは倉庫
杏子の魔法は何なの？
まぁ端的に言うなら幻覚や幻惑といった類の魔法だな
幻惑？
一例を挙げると幾重にも分身して一斉に相手を攻撃したりとかな
へぇ…なんて名前なの？
ロッソ・ファンタズマっつって…
あ…
ロッソ・ファンタズマ!?
い 今のは違くて…!
オイ！ そこォ！ 妙な勘違いしてんじゃねェぞ!!
わ わたし！ 今改めてマミさんと杏子ちゃんは親友同士なんだな～ってすっごく思いました!!
あと ほむら！ 笑うな!!
ほっこり

リア充の素質

杏子ちゃん
今日はありがとう
あぁ いや
こちらこそ…

いやー
なんだかんだで結構
話し込んじゃったな

今までずっと
一人でも構わない
って思ってた
けどさ
こういうぬるい
関係も案外悪くない
って気がするよ

ぬるい関係とか
そんな捻くれた
言い方しないの
…友達?
そう 私たち
もう友達だよね?
友達…
でしょ?

へへ… よーし!
今からみんなで
ゲーセンでも行こうぜ!
お 対戦するかね?
ダンスゲームなら
あたしだって得意
だかんね!
わ わたしは
運動苦手だから
後ろで応援してるね

なんとか今日の集まりを
乗り切れたけど…
あれ…?
なにこの疎外感…
なんか私よりも佐倉さんの方が
みんなと仲良くなってなぁい?…
ポフッ

宴

ぽむ☆マギ

あ　そうそう
あたし
今度　まどかの家で
お泊まり会を
するんですよ～

……
お泊まり
会……？
はい
フラッ…

…それは
何日？
はい？
具体的な
日付よ

強襲、魔法少女

そう…今週の土日なのね
ポフッ
それで集合時間は何時頃になるのかしら?
ガボーンッ
コクコク
この人たち来る気満々すぎる!!
だ駄目なの!?
えいや…まどかに聞いてみないことには…
お泊まり会か～
まぁただメシ食えるんなら行ってやってもいいぞ!
ドンッ
なんで学校に居るのアンタ!?
っていうかいくらなんでも人数多すぎですって!
ポフッ
急に4人で押しかけたりしたらさすがに迷惑なんじゃ…
さやかちゃん大丈夫!
ぐっ
わたしの家ね結構広いんだよ
4人ぐらいなら全然へーキ!
あぅん知ってる…
バァァァン!

鹿目まどかと愉快な仲間たち

‐ 鹿目まどかと奇妙な仲間たち ‐

懐かれほむら

この子は鹿目さんの弟さんかしら？
はい 弟のタツヤです
REC
ぬっ
!
ワタッ
ぐいっ
フイッ
…………
傍若無人なほむらでもさすがに幼児相手には強気で通せないか
いやいやいや最初に抵抗した時点ですでに大人気ないから！
オロオロ
ぷるぷる
ポフッ
ふわわっ

要注意人物

無言の圧力

あれ～？ほむらちゃんどこ行ったか知らない？
キョロ キョロ
さぁ…トイレにでも行ったんじゃないか？
はは 今頃まどかの部屋に勝手に侵入してたりしてね
JOKER
ぬっ
ムフー
じ
じ
!!?
にぱー

― まどかちゃんといっしょ ―

青天の霹靂

二人一組

ん～
チュン
チュン
体が軽い…
こんな幸せな気持ちで迎える朝は…
初め…
て…？
嫌な予感がする
この先、私だけが余り物になっていく
そんな予感が…
…ねぇキュゥべえ
この近所にもう一人ぐらい魔法少女がいたりしないのかしら？
いないね

致命の一撃

まどかはあたしの嫁になるのだ～
ギュ――ッ
きゃッ
もう～さやかちゃんったら…
きゃッ

ふぅ
ザッ

ざわざわ
ほむらちゃん!?
敵襲カッ!?
ドサッ

ぽむ☆マギ

お告げ

ほむらちゃん！どうしたの!?
タタタッ
わかんねぇ…とりあえずここじゃ目立つ人気のないところに運ぶぞ
さやか手を貸してくれ まどかはマミを呼んでくるんだ
まどか 僕が仲介することでマミにテレパシーを送ることも出来るよ
スッ
本当!?
心の中でマミに語りかけてごらん
マミさん…聞こえますか マミさん
大変なんですーほむらちゃんがー
ガタァッ!!
鹿目さんが…
みんなが私を呼んでる…
すぐに行かなきゃ！
中2…
ざわ…
中2だ…
カッケェ…

災い転じて

濁りがかなり進行しているわね
これはソウルジェムといって魔力の源であり魔法少女であることの証
魔力を消費するほどにソウルジェムは黒く濁っていくの
暁美さんが突然倒れてしまったのはおそらくこれが原因ね
でも大丈夫 このグリーフシードを使えば… ほら
コツン…
わ 奇麗になってく
しばらくすれば体調も回復するはずよ
ギュ――――ン
穢れメーター
パアアァッ
良かった… でもほむらちゃん昨日まではなんともなかったのに．
私たちに心配かけまいとずっと平静を装ってたのかもしれないわ
きっと私たちも知らないところで一人でも魔女と戦い続けていたのよ…
ったく みずくせぇなぁ
うぅ…見直したよ ほむら
ほむらちゃん ありがとう…
謎の好感度UP

急転直下

パチッ
お
目を覚ましたぞ
ガバッ
これで一安心ね
暁美さん 魔法少女としての使命も大事だけれどあまり無理をしすぎてはいけないわ
?
私たちはもうひとりぼっちで戦う必要なんてないのよ
??
そうだぞ！もっとアタシたちを頼ったっていいんだ
と…と…友達…なんだからな！
もう 心配させないでよね…ほらまどかなんて不安で泣いちゃってるんだから
えへへ…さやかちゃんだって
えっ!? 暁美さんのソウルジェムが…！
どういうことだオイ!?
穢れメーター

日常茶飯事

そういえば私にも原因が分からないままソウルジェムが濁っていた覚えがあるわ
本当かよ
ソウルジェムの濁りはなにも魔法の行使によってのみ進行するわけじゃないよ
スッ
キュゥべえ
魔法少女としての体を維持するだけでも微量ながら魔力を消費していくし
所有者である魔法少女自身が絶望を感じることでも黒く濁っていくんだ
あれほど急激に濁っていったことを考えるに原因は後者の方ね
絶望だと…？んなもん初めて聞いたぞ…
それを突き止めない限り回復させてもいたちごっこってことかよ
魔法少女が絶望を感じることでもソウルジェムは黒く濁る…
なるほどね…
スッ
…道理でしょっちゅうドス黒くなっていると思ったわ…
フフ…
ガタガタ
マミさん…

真実

ソウルジェムが真っ黒になっちゃったらどうなるの？
ほむらの様子を見る限り単に魔法が使えなくなっちゃうだけじゃなさそうだけど…
ソウルジェムが濁りきるとねグリーフシードに変化して
君たち魔法少女は魔…
あ！いや…
げふんげふん！
魔…？
何？
あー
グリーフシードに変化…？
どういうことかしら？
うん
今はそれよりもほむらの穢れの原因を突き止める方が先決じゃないかな？
じゃあ僕はちょっと用事があるから…
オイ！アイツ逃げる気だぞ!!

それぞれのメンタル

ソウルジェムが濁りきると魔女になるだとぉ…
メキッ
なんで黙ってたんだテメェ!
…すんません聞かれなかったもんで…
あぁぁ～
マミさん!?
ドンッ!!
マミさんのソウルジェムも濁っちゃってる!
あんなこと聞いちゃったら不安になって当然だよ…
はぁぁああぁ
ガタガタ
ったく…巴マミともあろうものがだらしねぇ
…杏子ちゃんは平気なの?
パアアアッ
そりゃ気分悪いけどな 気にしたところでどうこうなるもんじゃねーし
要するにコイツが濁りきらなきゃいいわけだろ
むしろ事前に知ることができたと前向きに考えるべきだ
生憎 これぐらいでヘコたれるほどヤワな性分じゃないんでね
あでもちょっと濁っていってる
やせ我慢だ
ゴゴゴゴゴッ

芽生え

結局 暁美さんがこうなった原因は何なのかしら？
ほむらもソウルジェムの正体に気付いて絶望したの？
いや 僕はほむらには何も話してないよ
まどかとさやかには心当たりは無いのか？どうも二人を見て濁り始めた気がするんだけど
ええ!?
そんなこと言われても…
どんな些細なことでもいいの
例えば彼女が倒れる直前にはどんなことをしていたのかしら？
えっと…なんだっけ…
ほむらちゃんが倒れる直前…
確か…
ぎゅう♥
わぁ
まどかはあたしの嫁になるのだー！
とかなんとか…
ゴフッ
それよ!!
あれ…？
今のでアタシのもちょっと濁った気がする・
じ
なんでだ？

絶望スパイラル

つまり二人が露骨にいちゃいちゃしなけりゃいいわけだな！
ぐいっ
ちょ ちょっと…！
ドキ ドキ
いいちゃいちゃとかそんなんじゃないってば
キュッ
こんなのただのじゃれあい！そう スキンシップ！
!?
友達同士だったらこのぐらい普通にしてるものなの！
じゃあ…
?
ホレ
アタシにもしてみ
う…
なんかあらたまって言われると恥ずかしいからパス
ガーン
カァー
照れメーター
そ そうね このぐらい普通よね
どよ どよ
みんな普通にしてるわよね…
君たち 手持ちのグリーフシードにも限りがあるってこと分かってるかい？
照れメーター

死屍累々

カサッ
離婚届
…どういうことです？
二人にサインして貰えると暁美さんが納得するみたいで…
はあああああッ!?
あくまでも形だけなんだからさちゃちゃっと書いちゃいなよ
バンッ
あのね～そんな簡単に割り切れるもんじゃないの
ず～っと積み重ねてきたまどかとの友情にケチを付けられたような気になっちゃうの
ね？まどか！
え？
カキ カキ
あ あの… わたしほむらちゃんのために良かれと思って…
うん… 分かってる… 分かってるけどぉ～
ねぇ あたしにもグリーフシードちょーだい…
必要ねーだろ

当社比２００％

インキュベーター…
数多の不可思議な能力を有する
世の理の外側にいる存在
その生態は多くの謎に
包まれている

食物によりエネルギーを
摂取する必要性が
あるのかどうかも不明だが
どうも雑食であるらしく
人間の食事を口にすることも
ある模様

どんなものでも美味しそうに食べる
その様に気をよくした鹿目まどかは
いつしか食事を分け与えることが
習慣となり
キュゥべえ自身も
それを拒むことなく
次第に進んで摂取する
ようになっていった
――そして

肥えた
ど
キモッッ!!!!
ふん

ぱむ☆マギ

筋トレ

会って早々キモいだなんて 随分なご挨拶だね さやか
あ…ごめ…
くわっ!
声太ッ!!!
いったいどうしたってのよ しばらく見かけないうちにこんな…
毎日ご飯をあげてたら いつの間にか大きくなっちゃってて
いやー… これはいくらなんでも太らせすぎでしょ
で でもさ これはこれでコロコロしてて なんだか可愛いと思うな
ぶるんっ
ないない
そうかなぁ
よじよじ
痩せさせた方がいいって
ぐぐぐっ
ね?
痩せさせた方がいいって
………そだね

計算外

っていうか あんた自身は痩せたいとは思わないの？
何故無理して痩せる必要があるんだい？
ん～ ほら…スマートな方が見た目も良いだろうしさ
そういった価値観は僕には理解できないね
痩せていた方が健康にいいし
僕を太らせた一因でもある君がそれを言うのかい
…ごめんなさい
そもそも僕の姿は君たち以外の目には映らないわけだしね
人の視線なんて殊更気にする必要もないじゃないか
てく
てく
そうなのかなぁ…
そうさ
ガク
ガク
フゥ
フゥ
ところで…
…ちょっとここらで…
ゼイ
ゼイ
…休憩していかないかい…
痩せる理由見つかったじゃん
ハア
ハア

夢見る少女たち

ということでキュゥべえをダイエットさせることになったわけだけど…
何かいいアイデアがあるの？さやかちゃん
ガリ ガリ
ここは一つマミさんに相談してみるのはどうだろう？
マミさんに？
あ 確かにスタイル抜群だし何かいいアドバイスを貰えるかも…
あわよくば！
あれほどのプロポーションを作りあげ維持し続けてる秘訣を聞き出せればあたしたちだっていつかはナイスバディの仲間入りに…！！
な ないすばでい…
きゅぴーん
くるっ
そういうのは生来の資質も強く影響するだろうから過度な期待はするべきじゃないと思うよ
分かってるわよ
少しは夢見させてよ

マミさんに相談

いらっしゃい いま紅茶とお茶請けを用意してくるから部屋の方で待っていてね
ありがとうございます！
突然おしかけちゃってすみません
今日は何か相談事があるということだけど…？
はい！実はマミさんの体の秘密をですね…
ぱぁぁ
紛らわしい言い回しをしない！
コトッ
か から…!?
あせっ
違います違います ダイエットといいますかスタイルを維持するコツとかあるならご教授願えないかな～と
ぷるぷる
カチャ
カチャ
あ あぁ…そういうことね！
でも二人ともそんなことする必要なさそうだけど…
あ～今すぐ必要なのはこっちですこっち
ゴクリ
コトッ
あら 初めて見かける子ね キュゥべえのお友達かしら？
キュゥべえなんですその子
え？
ぐいっ
もしゃ
あーっ
あ コラ!! これから痩せようってのに何食べてんのよ！

杏子に相談

杏子の下を訪れた一行
杏子って四六時中何か食べてる割りに太る気配が全然ないよね
何か秘訣があるの？
んー？
もっしゃ
特に意識してることなんてないけどな
太りたくてもなかなか太れない体質というか…
もっしゃ
むしろもうちょい体重が増えたって構わないぐらいだけどな！
へ〜〜〜〜〜〜〜〜
チャキッ
つーか単純に運動すればいいだけの話なんじゃねーの？
当人にやる気がないなら
ニィ…
無理やりにでも動かしてやればいいじゃんか！
ブォン
オラオラ！とっとと走りやがれ!!
ブォン
わけがわからないよ
さすがにちょっと不憫に思えてきた

魔法少女になってよ

なんて僕がこんな目に…
ゼィ
ゼィ
ハァ
ハァ
なんだかんだ言って運動はダイエットの一番の近道だろうしさ
辛いだろうけど頑張れ！
こんなことしなくてももっと手っ取り早く確実に痩せられる方法があるよ…
ブフー
ハァ
ハァ
え？なんだろ？
まどかが僕と契約して体形を元に戻すようにお願いしてくれればいいんだよ
ドギャアアアン!!
ずうずうしいにも程がある！
きゅぴーん
その手があったか…
まてまてまてッ!!
どう見繕っても真剣に考える価値のある願いじゃないから！
そもそも魔法少女になることはマミさんや杏子にも反対されてたでしょ!?
がくん
がくん
別にさやかの願いで叶えてくれてもいいんだよ？
……あんたはまずその甘ったれた思考を矯正するところから始める必要がありそうね
とりあえず町内をもう一周走っとく？
きゅ

ほむらに相談

ほむらの下を訪れた一行
プピッ
?
とぷんっ
プププーッ
ど　どうかな？ほむらちゃんキュゥべえを元に戻すいいアイデアある？
なんだか自信たっぷりね
ここはほむらちゃんに任せてみよう
カチャ…
スッ…
ドン
ドン
ド

転生

ほほほほほむらちゃん!!
何やっちゃってるの!?
きゅうううう!!
このバカほむ!
自分が何をやったか
分かってるの!?
いくらキュゥべえのことが
気に入らないとしても
やっていいことと悪いことが…
バッ
え…なに…?
キュゥべえには
死の概念自体がない?
死んでもそれは
時的なことで
すぐに以前の
記憶を引きついだ
新しいキュゥべえか
現れる…?
今のキュゥべえが消えさえすれば
元の体形にリセットされた状態で
復活するはず…?
あんたねぇ!
そんな訳の分からない
言い逃れが通るとでも…
さやかちゃん!
あれ!!
代わりは
いくらでもあるけど
ゴゴゴゴゴ
無意味に潰されるのは
困るんだよね
勿体無い
じゃないか
ぶわあっ
どぷんっ
全っ然
変わってねぇ!!
ヒュウウウ…

進化

ほ ほんとに新しいキュゥべえが出てきちゃった…
でも体形はそのままだね…
ちょっとあんた…どうなってんの？
話が違うじゃないの
君たち
もう不意打ちでこういう真似をするのはやめてくれないかな
この残骸だって僕自身で処理しなきゃならないんだからね
ひっ
しょ処理…？
まったくもう…
もしゃり
むしゃ
ごくん…っ
もぎゅっ
きゅっぷい
ゲフゥ
どぷんっ
さらに肥えてる——ッ!!!
その後 過酷な運動と絶食を強制的に課せられ なんとか痩せることに成功したらしい

お嬢様

幼い頃より
親交を深めてきた
親友がおりまして

彼女たちとよく私に
するとが多かった
のですが

これは俗に言う「はぶられている」
という状態なのでしょうか？

ふぅ…

必死すぎる

あ別に他にお友達がいないという
わけではないですからねどちらか
というと多い方だと思いますし
ております
いをしてるのではなくたたなんと
なくよそよそしく感じるその原因
を知りたいだけであってつまり私

深まる疑念

さて…今日はこれから
マミさん達と
街の見回りだったよね
コクンッ
うん 頑張ろうね
ほむらちゃん
席が離れていて
ところどころ
よく聞き取れ
なかったけれど
どうやらこの後
3人で街へお出かけ
するみたいですわね
思えば私も少々
受身になりすぎて
いたのかもしれませんわ
相手から
話しかけてもらうのを
待つばかりではなく
自ら積極的に
関わっていかなければ
ガタッ
今日はお稽古事も
お休みの日!
私も一緒に交ぜて
いただきましょう!
えっ…と…
ごめん仁美
あたし達これから
ちょっと…ね…
うぅん…
どうしても
外せない用事が
あって…
さすがに
本当のことは
話せないから
誤魔化さなきゃ
この用事
三人用
なんだ!
悪いな
仁美。
じゃあ…
また明日…
…ごめんね
あれ? あれあれ?
これってまさか…
私本当に
避けられて
いますの…?

シンパシー

申し訳ないと思いつつも後をつけてきてしまいましたわ
コソ
コソッ
このままだと気になって気になってしょうがありませんもの
あれは確か上級生の巴先輩だったかしら？
もう一人は初めてお見かけするお方ですわ
効率的に少しでも多くの場所を見回るために3組に分かれて行動しましょう
ソウルジェムを持っている子とそうでない子でペアを組むの
じゃあ美樹さんは私と
よーし一緒に行こうぜさやか！
はいはい
ぐい
ぐい
ぐい
鹿目さ
ほむらちゃんそんなに引っ張らないでもちゃんと付いていくから
……キュゥべえ一緒に行きましょうか？
あぁぁぁぁ…なんだかあの方から今の私と同じ匂いを感じますわ…！
でもなんか独りごと言ってて怖い！

やんごとなき身分？

昨日は途中までしか追いかけることが出来ませんでしたが
コッ
暁美さんだけではなく先輩や校外の子とも懇意にされているのは分かりましたわ
コッ
このモヤモヤした気持ちを晴らすためにも
ここは思い切って先輩に相談してみましょう
キラ
キラ
一分の歪みもない美しく整った姿勢そして溢れ出る気品
思わず見惚れてしまいましたわ…
キリリッ
「孤独」な人なのかと感じてましたが…言うなればこれはむしろ「孤高」…！
高嶺の花すぎて気軽に近づきがたい存在なのですわ！
今まで多くの上流階級の方々と関わってきた私には分かる…ッ！
巴先輩…只者ではありませんわ!!
マミ 君はまた寝たフリで時間を潰しているのかい？
はやくチャイム鳴らないかしら…

なるほど…事情はよく分かったわ
あの子達との間に急に溝を感じてしまったのね
私 お二人に何かしてしまったのでしょうか
だとしても私自身には身に覚えが無くて…
私達は魔法少女で鹿目さん達はその見習い
魔女とその痕跡を探すべく街中を見回っています
…なんて言えるわけないわよね

ごめんなさい残念ながら私には分からないわ
…そうですか
…でもね
あの二人は悪戯に人を避けるようなことをする人じゃない そのことは付き合いの長いあなた自身が誰よりも良く分かっているのではないかしら？
隠し事があるにしてもそこにはきっと止むに止まれぬ相応の理由があると思うの

だから…ね 志筑さんもあの子達のことを信じてあげて
カチャ カチャ
私なんかで良かったらいつだって相談に乗るわ
は はい! ありがとうございます! 巴先輩!!
理由を伏せたまま鹿目さん達をフォローしつつ私はお友達GETッ!!
やったわ!!

やりたい放題

よぉ
マミじゃねーか
あら佐倉さん
ごきげんよう
悪いね
ちょいと
お邪魔するよ
外から
見かけたんで
一言挨拶して
おこうかと思ってな
いいえ…
ズイッ
この人は確か昨日の…
あー 腹減ったな…
マミ！アタシ
これ食べたい！
ビシッ
あなた 最初から私に
奢らせるつもりで
来たのでしょう？
う… まるでたかりのようですわ
いいじゃんかよぉ～
友達だろー？
言葉使いも粗暴で慎みが感じられません
んめえ！
旨いな！
これ！
佐倉さん
もうちょっと
静かに…ね
マナーも全くなっていない…
さ 佐倉さん
何しているの!?
カチャ
カチャ
え？ いや
残りは持ち帰って
食べようと思ってさ
ボトッ
ボトッ
な…何故 皆さんは
このような方とお付き合いを…？

堕天使

先ほどの会話の端々から
察するに 皆さんとは
かなり親密な関係みたい

どう考えても対極に
いるような方なのに

もっと仔細 お話を
聞いてみることで
その理由が分かるかも
しれない

そう思って追いかけて
きたものの・

一体どう話しかければ
いいものでしょうか

なんだ お前
まだ拾われて
なかったのか

ほれ 食べ物
持って来たぞ！

ハッ ハッ

ガサッ

真理

暁美ほむらさん…ある意味最も謎の多い人…
ここまで来たら暁美さん自身のことも気になってしまいますわ
思い返せば事の始まりは彼女の転校そのものにあったような…
正解
あの日 予定になかった急な席替えが始まって
電子黒板
さやか
まどか
ほむら
仁美
私だけがお二人から離されてしまいましたし…
きゅぴーん
その席替えも元はと言えば暁美さんが無理やり提案したことだったはず！
先生との間に裏取引があったなんて噂も…!!
今思えば 初日からお二人と面識があるかのような素振りまでありましたわ
暁美さんによって仕組まれたことなのでは…!?
ホムゥ…
もしかして…これらは全て…
大正解
なんてね いくらなんでもそれは邪推しすぎというものですわね
フゥ…
漫画じゃあるまいし
惜しい

お宅訪問

なんと私は暁美さんの自宅にお邪魔することに成功しました
暁美さんの忘れ物を届ける役目を名乗り出たことによって
暁美さんの人となりを知れるいい機会だと思ったのです
ありがとう暁美さん頂きます
カチャ
身の回りの物から共通の話題を見つけ出して話のとっかかりにしようと思っていたのですが
誤算でした
まさかこれほどまでに生活臭が微塵も感じられない異空間でしたとは…
所々に銃器の類が無造作に転がっております
玩具であると信じたいですが怖くて詳細を聞けません
周囲に浮いている謎のモニターには何故かまどかさんの映像が映っております
どうも私生活を録画したもののようですが 怖くて詳細を聞けません
暁美さんに踏み込んでいけばいくほど暁美さんという存在が分からなくなっていきます
めっちゃ見つれてる
ズズッ
じ――
私 今更ながらここに来たことを後悔し始めております

地雷原を駆け抜けた女

単純にまどかオンリーの話で切り込むのが正解だったことに仁美が気付いたのは 暁美邸を追い出された後のことであった

体育祭

ぽむ☆マギ

今日は見滝原中学校
体育祭の日です

運動が得意なさやかちゃんは
何日も前から大張り切り
ぐっ
ぐっ
わたしは運動オンチだから
ちょっと不安 かな

魔法少女であるマミさん
身体能力は全校生徒の
誰よりも高そうな気がします
杏子ちゃんも一緒だったら
もっと凄いことになってたかも

ほむらちゃんは先ほどから
ずっとテンション低めです
行事そっちのけで
ビデオカメラを回していたら
没収されちゃったんだって・
そんなに撮影したいものが
あったのかなぁ

100m走

おっしゃ
あああっ！
ドドドドド
ドッ
さやかちゃん
凄い！
一等賞だよ！
キャッ
キャッ
へへーん
まぁあたしにかかれば
ざっとこんなもんよ

位置について…
まむらちゃんも　位っ
凄い凄いっ!!
へへ…っ
ご褒美に
なでなでして
あげちゃう
よーい…

ドーン
ドッ

普段 忘れがちになるけど
本気を出した魔法少女って
やっぱり物凄いんだね…
基本スペックの違いを
まざまざと見せつけ
られてヘコむわ～

暁美さん！
魔法少女の能力を
無闇に衆目に
晒してはいけないわ
それでなくとも注目を
集めるような行動自体
極力避けるべきよ

だってさ
もう無双は
できないな―
こりゃ
目立ちすぎちゃうのも
考えものなんだね

ほら ほむらちゃん
今度はマミさんの出番だよ
位置について…
しゅんとしてないで
一緒にマミさんを応援しよ
よ～い…

ばるん
ばるん
パ
ン

うおお
スゲー
おぉお
うわ…
マミさん…
言ってるそばから
目立ちまくってます！
物凄く…っ！

傍観者

体育祭ねぇ

てててて…
マミもほむらも意図的に力をセーブしてやがんのか
アタシにゃぁ無理だねーフラストレーションが溜まっちまう

だいたいさ～勝ったところで何かもらえるわけでもないんだろ？
得られるのは自己満足ぐらいでさ

団結力だの協調性だのをやたらと押し付けられるのも気に入らねー
疲れるだけっしょこんなの

わざわざ声に出してことさら否定してみせるのは強がりからかい？
君本当は交ざりたいんだろう？
うるせぇ!!

玉射れ

フィナーレ・・・ツー！

ティロ・・・
スッ・・・

パ
スッ

なぁ あの人 さっきから 百発百中で 入れてね？
だから 目立ってるって！ マミさん!!
ポイッ
ポイッ
なにもんだ？

家　族

お昼休憩
鹿目さんも美樹さんもご父母と一緒にお昼を食べてるのね
楽しそうで羨ましい

やっぱり私だけが一人…かぁ
トボ
トボ
おい マミ

え？
こっちだこっち
佐倉さん…？

よう場所取っておいてやったぞ
早く飯にしようぜ
ちゃんと自分の分は用意してきてるからな取ったりはしないから安心しろよ

あん？なにニヤニヤしてんだよ
ほっこり…
ふふ…別に

もっ
もっ
もっ
一人

片鱗

はぁ…
またビリ
だったよぉ…
お疲れ
まどか
あ～あ…
わたしももっと
運動神経が
良かったらなぁ…

ぬっ
魔法少女になれば
そんな悩みは
一発で解消さ
ほほぅ
露骨な勧誘すな！

ほわほわしたまどかを
一人にしていたら
しょうもない願いで
魔法少女にされかねない
まどかが僕と契約して
体型を元に戻すように
お願いしてくれれば
いいんだよ
その手があったか
…あたしがしっかり
守ってあげないと！

でも待てよ…
いくらなんでもそんな安易な願いを
聞き入れようとするものかな
マミさんと杏子からの
忠告だってちゃんと
理解してるはずだし…
え…? あれ…?
もしかして
天然じゃなくて計算?
興味ありげなリアクションで
キュゥべえを期待させて
楽しんでる…ッ!?
ふふっ…

組体操

じー…っ
チチチ…
じー…っ
じー…っ
ぐいぐい
ズズズッ
パアアアアッ
あのピラミット凄えぞ！一糸乱れぬ完璧な形だ！
でも天辺だけなんだかおかしい!?
ファサッ…
支え部分はいいのに天辺のどや顔とポーズで台無しだ!!

思い出

まどか お疲れ様 よく頑張ったね
今年の分もしっかりと記録に残しておいたよ
ジィーッ
いずれまどかが大人になった時にでも家族みんなで一緒に見たいものだなぁ
ほむー!!
ん?

REC
ジィーーッ

うっ この子は…
こっちを見ている…
何だ何だ…?
ぬぅ
ゴクリ…

何故そこまで執拗にまどかの映像を…!?
体育祭の思い出として?
いやしかし… ぬぅう 目的が読めん!
ダビングしてください
言い値で買います。

鬼の目にも涙

終わったねー
体育祭
うん

あ 上条君が
いるよ
さやかちゃんも
輪の中に入って
みれば？
えぇー!?
いいよいいよ！
あたし踊れないし！

…それにホラ
あたしはダンスなんて
柄じゃないしさ
へへっ…

やぁ 次はさやかと
踊る番だね
!?

え？ あれ!?
なんで!?
あたし そこに
座ってたはず
なのに…??
フンッ…

ぽむ☆マギ こぼれ話 3

まどか宅でのお泊り会で録画した映像により、
ほむら秘蔵のまどかセリフコレクションは大幅に増加。
起床、食事、就寝時などに応じた映像を流すことで
充足した毎日を送ることが出来ているようです。

ぽむ☆マギ こぼれ話 4

本作中におけるほむらの時間停止魔法の概要は以下の通りです。

- ほむら自身、そして魔法の発動前からほむらが手で触れている物体以外の時間の流れを停止する。
- 発動時に時間停止の影響から外れても、ほむらとの直接的及び間接的接触が途切れると、その物体の時間は停止する。
- 一度でも止まってしまった物体は、魔法そのものを解除しない限り、時間の流れは元には戻らない。

魔法少女たちの休日

今日は日曜日
多くの人間にとっては
休日に当たる日
いつもの5人はそれぞれ
別行動を取るみたいだ

ぽむ☆マギ

インキュベーターとしての
目的を遂行するためにも
魔法少女とその候補の
言動にはつぶさに目を
配らせておく必要がある

僕としては一緒に
居てくれた方が楽なんだけど
そこは仕方が無い
全員に時間を割いて適宜
追跡していこうと思う
いや…むしろ勧誘においては
一人でいてくれた方が
好都合かもしれない
特にまどかは一押しすれば
いけそうな雰囲気だし！
ふふふ…
→掌の上で踊らされています

美樹さやかの休日①

ねぇ仁美
もしもの話だけど
どんな願いでも
一つだけ叶えられる
としたらどうする？

突然
どうしましたの？
ただし願いと
引き換えに
大きな代償も
あって…
う〜ん
なんというか…
そう！

ごく当たり前の
平凡な日常を
送れなくなって
しまうの
一度そうなって
しまったら
もう戻れない
そんな自分の人生を
丸ごと天秤に掛けて
しまえるほどの願い
…ある？

………
さやかさんやまどかさんと
今後もこうやって一緒に
遊びに行ったりしたいですわね

えぇ〜
もっと真剣に
考えてよぅ
ぶー
あら 私は真剣に
答えたつもりですわよ
つまり私は
願い事を叶えずに
ごく当たり前で
平凡な日常の方を
選ぶということですわ

おぉぉ…
なんだか達観
してるね仁美
ここ最近ずっと孤独感に
苛まれてきた末に至った
境地ですわ
普通が一番!!

佐倉杏子の休日①

はぁ～

手持ちの金も底をついてきたしぼちぼち生活費の調達に出かける頃合いだな
パチンッ
何をするつもりなんだい 杏子
あ？ まぁ見てなって

見滝原じゃあまだアタシの噂も届いてないだろうからな
仕事もやりやすくなるってもんだぜ

最近は随分性格が丸くなってきた印象だったけど…
水面下では相も変わらず危ない橋を渡っているのだろうか

挑戦状!
超特盛2kgカレー
20分以内に完食できたら
金一封

おっちゃん! 大食いチャレンジのやつ挑戦するぜ!!
はは… お嬢ちゃん本気かい？
冗談じゃないって!
…仕事？

佐倉杏子の休日②

ざっとこんなもんよ
楽勝だったな
まさか本当に
食べきるとは…

へへ…
目録

よし 次の
店に行くぞ
ガビーン
今 特盛りを
食べきった
ばかりなのに!?

ばっか 悠長にしてたら
あっという間に噂が
広まっちまうんだよ
前の街ではまだ挑戦
してない店にも関わらず
ブラックリスト入り
してたからな
商店街の
ネットワークを
なめちゃ駄目だぞ
佐倉杏子
お断り!

そんなわけだから
アタシはもう行くぜ?
今日は一日がかりで
見滝原中の大食い
キャンペーンを
回るんだからな
ザッ…
………
お疲れ様です

暁美ほむらの休日①

いらっしゃい ほむらちゃん
あ カメラ持ってきたんだね もう撮影してるの?
Video

今日のご飯も 凄くおいしいよ パパ
Video

タツヤ ほっぺにご飯粒がついてるよ
ほら とってあげる

じーーーっ

カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ カチャ

タ————ンッ…

ふる ふる
今日のご飯も 凄くおいしいよ ほむらちゃん
ふる
ほむらちゃん ほっぺにご飯粒がついてるよ ほら とってあげる

黙々と撮りためたまどか映像の編集作業をしている…
僕には理解できないが とにかく幸せそうだ

巴マミの休日①

インターネットをしているのかい？マミ
どやぁ…
ふふ…これはね「えすえぬえす」というものなのよ
微妙に違う
最近 流行ってるんですって
これは試しに「見滝原」で検索してみたのだけど
cecile
doradora
Nagisa
ね みんな思い思いに好きなこと呟いてるでしょ
tama
あ〜、それ 私も見かけたー
書き込みに対する反応だって すぐに返ってくるのよ
インターネットでの交流なら時間も場所も制約無し
趣味嗜好が似通った人を探せるから話も弾みやすいらしいのよ
私もさっそく登録してみたわ
なるほどね
つまり友達作りが苦手なマミでも気軽に沢山の交流が持てるようになるわけだね
……そうね

巴マミの休日②

こないね
き きっと登録したばかりだから反映されるのに時間がかかるのよ
これでしばらくすればいっぱい返信が届くはずよ
Tiro f
今日から呟き始めてみます。よろしくお願い致します。
ざっと見てて思ったけど
これって自分のDが他の人に認識されない限り
どれだけ発言を重ねてもまず気付いて貰えないんじゃないかな
ふふ… 焦らないでじっくり待ってみましょ
紅茶を淹れてくるわね
スッ
チラッ
カチャ…
チラッ

暁美ほむらの休日②

ペタ
ペタ

ホカ
ホカ

今日のご飯も凄くおいしいよ ほむらちゃん
ほむらちゃん そのソース取ってもらっていい? ありがとう
あ ほむらちゃんもジュース飲む?
ほむらちゃん ほっぺにご飯粒がついてるよ ほら とってあげる

おかわりもあるからいっぱい食べてね ほむらちゃん
もっしゃ
もっしゃ
もっしゃ

まどかの食事映像を見ながら白米を食べている…もう3杯目だ
僕には全くもって理解できないがとにかく幸せそうだ

美樹さやかの休日②

チャプ…
人生をかけた願い事…かぁ やっぱりそうそう思い付くものじゃないね
そうかな？
さやか 君は恭介という少年のことを好いているんじゃないのかい？
う… なによ 突然
願い事の話さ
君にその気がありさえすれば 生涯 その少年の心を繋ぎ止めておくことだって…
それはダメ
魔法の力でっていうのはなんか違う気がする
やっぱり自分の力で振り向かせたいというか…
相手の意思も尊重してあげたいというか…
そっか
その辺りの感情を理解するのは僕にはまだ難しいや
…ところでさ
なにアンタナチュラルにお風呂場にまで入ってきてるわけ!?
しゅううううぅ
僕は人間の裸になんて興味ないよ…
そういう問題じゃない!!

鹿目まどかの休日

AM 07:00
ん――
ぐぐっ・・・
AM 10:00
PM 02:00
PM 07:00
もっ
もっ
PM 11:00
ZZZ・・・
普通だ…
悲しいまでに普通すぎる…
一体この子のどこに強力な
魔法少女となるべき要因が…？

報い

もっしゃ
もっしゃ

まーたアンタは お菓子ばっかり 食べて…
ペロッ
後々 後悔する ことになっても 知らないからね
へへーん

前にも言ったろ アタシはいくら食べても 太らないって
問題なのは それだけじゃ ないでしょ

ぷる
ぷる
栄養バランスとか 虫歯とかさー
…って 聞いてるの？ 杏子

緊急回避

杏子ちゃん
どうしたの？
ほっぺを
抑えたりして
ぷる
ぷる
いいや…
ナンデモナイ…
もしかして
言ってるそばから
虫歯にでも
なっちゃった？
はは…
んなこと
ないって

ねぇ ちょっと
口開けてみ？
な なんで？

もし本当に
虫歯だったら
大変でしょ
気にしすぎだって！
本当になんでも
ないから！

じゃあそのお菓子
もう一度頬張ってみてよ
ガサッ…
…おう

モグモグ
逆側で噛まない！

原体験

何でそんなに隠そうとするのさ?
も・し・か・し・て
歯医者に行くのが怖～い
…とかだったり?
ギクゥッ
え!図星なの!?
痛みも怖さも魔女との戦いに比べたらずっとマシでしょ!?
いや…あのさ…
アタシ 小さい頃にも一度虫歯になってるんだよね
親に連れられて歯医者に行って…
たまたまなのか体質なのか分からないけど
麻酔が十分に効かなくてな
そのままドリルで歯をガリガリガリ…
ぷる
ぷる
ぷる
ぷる
その時の記憶が…今でも鮮明に…
ぶわわっ
あ…いや…
なんか茶化してごめん…

石の知らせ

放置してたら
悪化していく
方なんだし
覚悟を決めて
病院に行って
おきなさいよ
…よし

ドッ
グン
ドッ

ドックン
ドックン

ドキ
ドキ

むっ!?
入らないのかい?
ズッ
危ないところ
だったぜ…
これを見てみろ

入ろうと
しただけで
急速に濁り
始めやがった…
このまま足を
踏み入れたら
間違いなく
アウトだったぜ…
どれだけ強烈なトラウマ
として刷り込まれているんだ

弱　点

翌日
…というわけで無理でした
……
えっと…それは少しの間ぐらい我慢できたりしないものなの？
お前！そりゃアタシに死ねと言ってるようなもんだぞ！

見ろ！院内に入ろうとしただけでこの有様だ
待機時間治療時間まで含めたら耐えられる気がしない
カタ
カタ
カタ
カタ
お　おう…
魔法少女は色々な面で人並み以上に能力が上がるけど
パァァァッ
絶望の蓄積がそのまま致命に繋がるってのが厄介だな

あー！せっかく病院に行く気になったのになぁー！
魔法少女じゃなかったら何の問題もなかったのになぁー!!
心なしか嬉しそうね杏子
言っとくけど嫌なことが先送りになっただけで何も解決してないんだからね

頼れる先輩

そういえばさ
魔法少女って自然に
傷が治ったりするんじゃ
なかったかな？
普通の人間より
自然治癒力は高いよ
ただ虫歯というのは
どちらかというと
疾病の類だろう
それも自然に
回復することの
ないものだ
でも 治癒の魔法を
患部に直接かければ
あるいは…
治るのか!?
確証はないよ
マミが使えたはずだから
試してみたらどうかな？
…そうね
可愛い後輩の
ためとあっては
パアア
断るわけには
いかないわね
私に任せて
おきなさい
ゴゴゴゴゴゴゴ…
ちょっと
待ったッ!!

バッドタイミング

どうしたんですかマミさん!? 濁りを通り越してどす黒くなってますよ！
はやく浄化を！
あいにくグリーフシードを切らしちゃってて…
そこまで放置する前に周りに相談しましょうよ！
でも先輩としての威厳が…
杏子ちゃんさっき使ってたグリーフシードを…
ん？これか？
アタシの濁りを結構吸収しちゃってるからな…
悪いがもうほとんど使い物にならないぞ これ
…でもまぁ大丈夫だろ
確かほむらも持ってたはずだからな
ほんと？
おう この間魔女を退治した時に拾ったんだよ
なら一先ずは安心ね
残量僅か
全員が同時に切らしてるなんてさすがに洒落にならないよねー

今後の指針

マミさんはしばらくの間変身するのは控えてください
しゅん…
…はい
ほむらちゃんはグリーフシードの確保をお願い
ドンッ
一人に押し付けちゃって申し訳ないけど…
杏子は…とりあえず待機かな
はぁ!? なんでだよ?

起死回生

杏子ちゃんのグリーフシードとほむらちゃんのグリーフシード
どちらも濁りを完全に消すほどの力は残ってないけど…

両方使えば　マミさんが一回魔法を使う分ぐらいは浄化できないかなぁ？
!!

そうすれば杏子ちゃんは安心して治療できるし
杏子ちゃんが治ればほむらちゃん一人に負担をかけないで済むし
きっとマミさんのソウルジェムも早く浄化できるよね

それだ！
わー
ナイスアイデア！
まどかさまさま！まど神様！
えー神様だなんて大げさだよー
せめてまどか様とかで
………な～んちゃって
まどか!?またちょっと黒い部分が……
いや…違う！ただのあたしの思い込み―そうに決まってる！

尊い犠牲

治ったーッ!
アンタ これに懲りたら生活態度を改めなさいよ
あと マミさんにもきちんとお礼を言っておくこと
ズイッ
あぁ 分かってるよ
この恩は魔女との戦いできっちり果たしてやるさ
一個といわず大量に持ち帰ってきてやるぜ マミ
安心して待っててくださいね マミさん
カタ
カタ
カタ
カタ
!?
マミさん!?
ガク
ガク
どうやら浄化量よりも魔力の消費量が若干上回ってたみたいだね
杏子ちゃん! ほむらちゃん! 早く! 一刻も早くグリーフシードを!!

一ファンとして「魔法少女まどか☆マギカ」をずっと追いかけてきましたが、
まさかこうして公認の本を出せることになるなんて、アニメを見ていた当時の
自分に言っても絶対信じないと思います。
実のところ、この話を最初にメールで頂いた時も半信半疑でした(笑)
公式からお誘いがかかるなんて展開は想像すらしていませんでしたから。

この機会を与えてくれた方々、
そしてこの作品を読んでくれた全ての方々に感謝！

九十九

《初出一覧》
本書は以下の内容を収録しました。
●まんがタイムきらら☆マギカ Vol.1〜Vol.10
●描き下ろし

ぽむ☆マギ　第１巻

原案：Magica Quartet　漫画：九十九

電子版発行日：2015 年 11 月 15 日
発行人：東　敬彰
発行所：株式会社芳文社
東京都文京区後楽 1-2-12